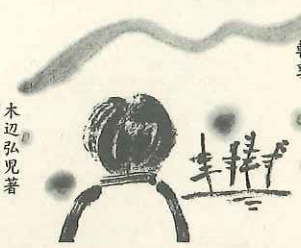
ついじまつ 10

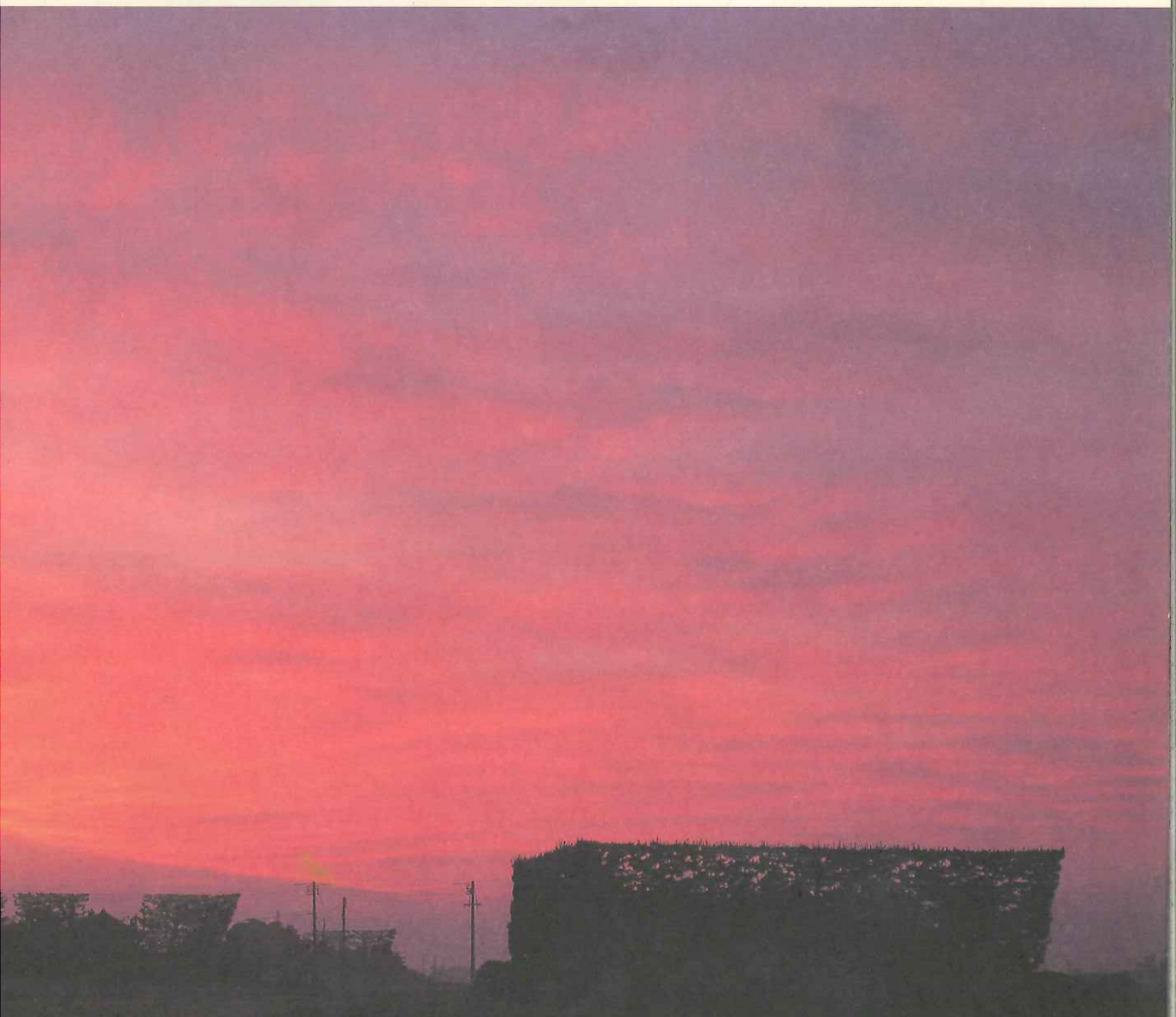
COMMUNICATION

ついじまつコミュニケーション：築地松情報誌1999.12月　発行－築地松景観保全対策推進協議会

斐川平野の灯が
いっせいにまたたき、
おぼろに浮かぶ近く
の築地松も、てっぺん
のあたりがかすかに
揺れていた。
遠くの出雲空港の照
明灯、おびえた矢代が
炎と見た、その光も揺
らいで見える。
そのさらに後ろには、
低い中国山脈の淡い
輪郭



木辺弘児著
「少年の火」
（編集工房ノア）より引用



祝 築地松景観保全 知事表彰

全国的に貴重で美しい出雲平野の築地松景観を後世に伝えるため、平成6年5月に「築地松景観保全対策推進協議会」が発足し、様々な事業を行ってまいりました。このなかで取り組んでおります「築地松景観保全住民協定」において、その協定に基づく地域住民の自主的な保全活動を通じ、より美しい築地松景観が保たれている協定地区について、島根県知事に表彰のお願いをしたところ、晴れて10月13日に島根県庁知事室において表彰式が行われました。表彰を受けられたのは次の4地区です。

●大社町

［鎧ヶ崎地区築地松を活かしたまちづくり住民協定地区］

構成人数・28／所有者・28／面積（ha）・8

●平田市

［築地松を守る下出来洲町内会住民協定地区］

構成人数・30／所有者・28／非所有者・2／面積（ha）・40

●出雲市

［出雲市高岡町下地区築地松を活かしたまちづくり住民協定地区］

構成人数・14／所有者・14／面積（ha）・13

●斐川町

［一本松地区築地松を活かしたまちづくり住民協定地区］

構成人数・28／所有者・18／非所有者・10／面積（ha）・21.9

築地松景観保全 表彰にあたって

このたび表彰いたしました築地松景観保全協定地区は、美しい姿を次第に失いつつある築地松の保全に努められ、今日まで良好な景観を保持されており、築地松協定者並びにこの地区にお住まいの皆様の多大なる御努力と御労苦に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

本県では、心の豊かさを育む快適な環境をつくり、生活と文化の豊かさを実感できる県土づくりを目指して、島根らしい景観づくりを推進していますが、出雲平野の田園地帯に広がる築地松の美しい姿は、全国に誇れる貴重な財産であり、県民の皆様の「心のふるさと」として、特に、その保全に努めて行く必要があると考えております。

県民の皆様におかれましても、この貴重な財産を守るために、ますますの御理解と御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

島根県知事

知事表彰おめでとうございます

まずもって今回表彰を受けられました4協定地区の協定者の皆様、誠におめでとうございます。

さて、当協議会は築地松景観の保全を目的とし、島根県と出雲市、平田市、斐川町、大社町のご支援を受け、平成6年に設立しまして5年余りが経過したところでございます。この間、認定した協定数は108協定にのぼり、構成戸数は1,959戸となり、この協定地区における築地松の剪定費用などを助成しているところでございます。

しかし、美しい築地松景観を後世に伝えていくためには、築地松を所有している皆様の守って行こうとする強い意志と御努力、そして、地域の皆様の深い御理解と御協力が最も重要であります。

このことから、協定者の皆様が一体となり、日頃より熱心に築地松の保全に努められ、良好な景観を保持されている協定地区を知事に御推薦いたしましたところ、4協定地区が表彰の栄に浴され、御同慶の至りであります。

今後とも、この表彰を励みにし、地域の皆様と力を合わせ、築地松を守って参りたいと考えておりますので、益々の御協力、御支援を賜りますようお願いしまして、お礼とお祝いの言葉とさせていただきます。

築地松景観保全対策推進協議会　会長　野津邦男

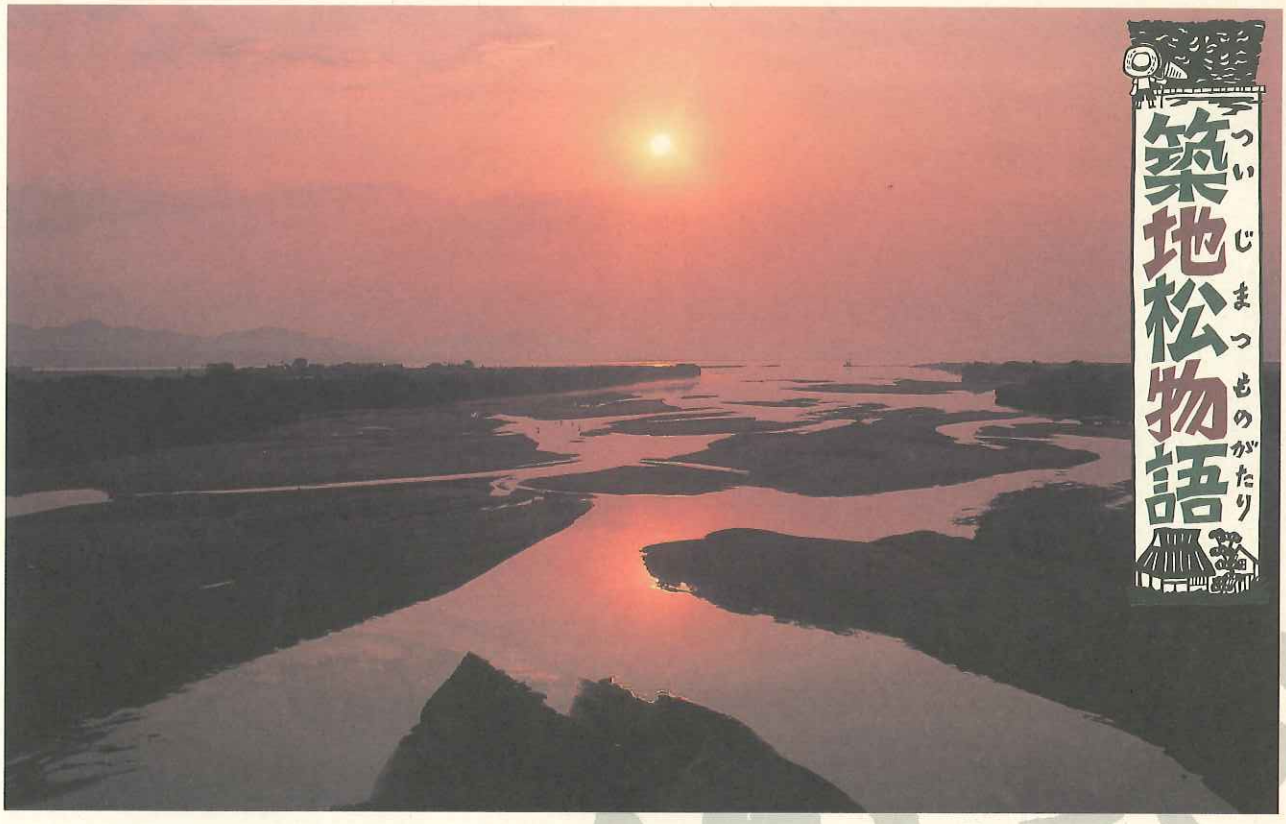
陰手刈りさん ご紹介

築地松景観保全対策推進協議会からのおしらせ

当協議会では、毎年、「陰手刈り」さんをご紹介しています。
自宅の築地松の剪定時期をむかえられている皆様、是非、連絡をされてみてはいかがですか？
なお、当協議会では斡旋・お取り次ぎはいっさい行っていませんので、ご了承ください。

郵便番号	住　所	氏　名	電話番号	陰手刈りを行う期間	陰手刈りに行ける地域
699-0751	簸川郡大社町大字杵築西2524の7	井元久二	0853-53-0350	春・秋	出雲市・大社町
699-0721	簸川郡大社町大字修理免1405	上田忠	0853-53-2708	春	大社町・出雲市
699-0732	簸川郡大社町大字入南476-2	永岡勝蔵	0853-53-1800	2月～12月	大社町・出雲市
699-0731	簸川郡大社町遥堪1165	長廻浩	0853-53-1624	3月～4月・9月～12月	出雲市・大社町・斐川町
699-0554	簸川郡斐川町三分市116	錦織進	0853-62-4264	10月～翌年3月まで	斐川町・出雲市
699-0643	簸川郡斐川町大字原鹿453	坂本芳友	0853-72-3474	主に春	主に斐川町内
699-0502	簸川郡斐川町大字荘原町3420	樋野良吉	0853-72-3233	1月～4月	斐川町・出雲市・平田市
691-0003	平田市灘分町2620	石原勝之	0853-62-3983	年中	平田市・出雲市・斐川町・大社町
693-0021	出雲市塩冶町867-7	出雲地区森林組合	0853-22-4433	年中	出雲一円
693-0031	出雲市古志町996	金本武夫	0853-24-3528	年中（梅雨時期は除く）	出雲市・平田市・斐川町・大社町
699-0822	出雲市神西沖町479-2	柘植観象園	0853-43-1882	1月～3月	出雲市・平田市・斐川町・大社町
693-0005	出雲市天神町307-12	遊木稔・恒夫	0853-22-3543	春・秋	出雲市
693-0006	出雲市白枝町814-3	中湯忠吉	0853-23-4043	年中	出雲市・大社町・斐川町
693-0054	出雲市浜町871	福田喜義	0853-23-4838	4月～7月・9月～10月	出雲市
693-0067	出雲市矢尾町614-1	宮本光敬	0853-24-1609	年中	出雲市・大社町
693-0067	出雲市矢尾町630	若槻文夫	0853-24-1342	1月～4月	出雲市・大社町・斐川町
693-0067	出雲市矢尾町下沢175-27	福代梶正	0853-24-2026・1449	年中	出雲市内
693-0005	出雲市天神町253-1	田中俊雄	0853-22-0860	年中	出雲市・平田市・大社町・斐川町

※順不同・敬称略
※掲載に同意していただいた陰手刈りさんのみ載せています。



ついじまつものがたり 築地松物語

築地松の成り立ちと効用

古事記の八岐の大蛇神話が物語っているように出雲大川（斐伊川）は古代から暴れ川で多量の土砂を流しながら意宇の海（宍道湖）を埋めていきました。その本流は長い西流時代を経て寛永年間（十七世紀）になってやっと東へ向きを変えたといわれています。

弥生時代、稲作が始まってからは北山、南山の山麓に住居を構えていた出雲人は、川の自然堤防や中洲の耕作化に勇敢に挑んでいきました。そして、不安定な仮小屋を拠点にして開拓の鍬をおろしたことでしょう。

洪水の度に田畑や仮小屋が流出されるのにもめげず、忍耐強く開拓は繰り返されていったのです。出雲平野の開拓の歴史はまさに出雲大川との闘いの歴史でありました。

斐伊川によって沖積された現在の出雲平野の中央部で、往時東の端近くにあった漆治の都牟自神社が出雲国風土記（八世紀）に記載されているのは、暴れ川を鎮めるための出雲人の切なる祈りの表れであったと思われます。

中洲や川堤にある仮小屋を住居にするためには、少々の洪水では流出しないだけの土地の高さと安定性が必要でした。従ってこの地方ではジギョウ（地盛り）によって周囲より数メートル高くし、更に屋敷の周りには防水用の堤（築地）を築きました。そして、その堤を固めるために水に強い樹木や竹を植えたと考えられます。

築地松の効用は歴史的にみて何でしょう。

（1）冬期の激しい西からの季節風を防ぐため。
（2）斐伊川の氾濫時に流されるのを防ぐため。
（3）枝おろししたものは燃料として備蓄する。
（4）屋敷の安定と格式をあらわすためなど。

これらの効用は出雲平野の立地条件からすれば、それぞれに意味があり、長い歴史と風土の中で生まれた住民の知恵の結晶であるといえましょう。（有田　宗一）

作者プロフィール

木辺 弘児（きべ こうじ）

1931年神戸市生まれ。大阪大学理学部卒業。企業の研究開発職に従事するかたわら、1980年ころより小説を書き始める。「水果て」で第87回、「月の踏み跡」で第92回芥川賞候補となる。著書に「沖見」、「水果て」、「廃墟のパースペクティヴ」など、多数。

表紙紹介作品/『少年の火』について

『少年の火』は、出雲の風土を絡めながら、一人の男の生き方を探る中編小説。主人公は、木次線の駅で旧制伊丹中学の同級生、矢代と再会する。矢代は、中学時代に起こした火事がもとで、故郷を後にし、その後の人生を奥出雲で送ってきた。彼がなぜ出雲にやってきたのかという謎を、斐伊川の源流からなぞり、ついにその理由に行きあたる。表紙紹介文が、主人公がその秘密に行き当たる部分で、斐伊川河口の風景が鮮烈な印象を残し、物語のクライマックスを迎える重要な場面である。

築地松景観保全対策推進協議会

島根県環境生活部景観自然課　〒690-8501 松江市殿町1番地　電話 0852-22-6143
島根県出雲総務事務所　〒693-8530 出雲市大津町1138　電話 0853-23-1515
出雲市建設事業部建築課　〒693-8530 出雲市今市町109-1　電話 0853-21-2211
平田市建設経済部農山漁村課　〒691-8601 平田市平田町951-1　電話 0853-63-3111
斐川町企画財政課　〒699-0592 斐川町大字荘原町2172　電話 0853-73-9211
大社町企画課　〒699-0792 大社町大字杵築南1395　電話 0853-53-3112
ついじまつホームページアドレス　http://www.pref.shimane.jp/section/keikan/

この情報誌は古紙配合率100%の再生紙と、環境保護のために大豆インク（SOY INK）を使用しています。